

第9回備前市歴史文化基本構想策定委員会会議録

日時：平成29年3月28日（火）13：30～15：30

会場：備前市市民センター 2階

上西委員長、岡本副委員長、倉地委員、狩山委員

秘書広報課 横山参事、企画課 木和田係長、まち営業課 柴部おもてなし観光係長

生涯学習課 石井文化財係長、安本主査、井上主事補

1 開会あいさつ（上西委員長）

事務局 歴史文化基本構想がかなり大きく方向を変えつつあるということで、市の施策、例えば観光、企画、日本遺産・世界遺産、そういった施策と関わってくるようなかたちになってきている。今日は、市の部局から担当者に市の取り組んでいる内容について説明をしてもらう場を設けました。

2. 報告・協議

（1）世界遺産・日本遺産推進活動の動向について

担当から添付資料を中心に説明

岡本委員 伊里地区で動きがおこってきたということですが、どのような取組があるのか。

担当 まずは活性の準備委員会を地域に作られ、区会開催の際に論語を朗読してから始めたり、地区の文化祭の時に構成文化財をパネルやポスターで紹介した。意外と身近にありすぎてその価値がわかってないというか、通り過ぎてしまうことがあるということで、区長が懸念され閑谷学校との連携を深めていこう、みなさんで見直していこうという動きがあり、まさに、地域活性化のモデル版ととらえている。独自の講演会を開催し、閑谷学校から三石へ抜ける山田方谷が通ったんじゃないかなろうかというような道をウォーキングをするという取り組みをされたりしています。

岡本委員 良い動きをされていますね。この構想が目指しているところですね。

倉地委員 平成29年度で補助金がおわり、あとは認定されている所が独自でやりなさいという事ですか。日本遺産連盟というのはどういう組織で、どういう形の活動をするのか。

担当 日本遺産連盟は37団体が加盟しており、情報共有と文化庁への要望をしている。日本遺産フォーラムで文化庁が日本遺産認定式をそこで行いました。ブース出展し各団体がそこでPRしている。

倉地委員 主に情報共有ということですか。日本遺産の参加する集まりというのは、単位としては市町村単位で参加するのか、ストーリー単位か？

担当 ストーリー単位です。4市で1つのブースに参加するという形です。文化庁からみると我々の協議会は教育遺産世界遺産登録推進協議会という事で補助を受けていて備前市だけが受けているという認識ではないと思う。

事務局 平成 29 年度が補助事業の最終年度という事だが、それ以降の補助事業の決定はあるかどうかの話はでているのか。

担当 日本遺産連盟で延長を要望したが通らなくて、3 年で日本遺産魅力発信事業は打ち切りです。ただ、観光庁や他の省庁で補助金を使えますよという紹介をどんどんしてきています。

(2) 備前市の観光施策について

担当から添付資料を中心に説明

事務局 説明の中に、観光に行くときに「特別な体験」が出来ないとリピーターの人がなかなか行かないという事でしたが、閑谷学校の講堂学習は「特別な体験」なのか、「普通の体験」になってしまっているのか。文化財は規制が多いという話があったが、小斎等はほとんど公開されていないが、例えば小斎などを特別に見させてもらう体験等は、講堂学習よりさらにある程度の対価を払ってでも行ってもいいとか、そういうニュアンス的なところを教えてください。

担当 論語体験は、国宝のなかで実際に入って論語体験するというプレミアム感はあると思う。小斎等も今まではだめだったけど、特別に見られるという、逆に人数限定とか、取って、そこの都合上 10 名までとかでもいいから情報が出ればいけると思う。あとは、これがどんなにすごい事なのかを皆さん知りたい。しかし、長く書くと読まない。どれだけわずかな文字ですごいという事がしれせるか、いわゆるインパクトの世界なのですが、その辺がうまいことつかめればなというところでは。

(3) 人口減少に対する事業内容について

担当から資料の 21 頁、27 頁を中心に説明

委員長 他市町村をみて家を建てるとかいう、伊部や片上の地価は高いのか？

担当 地下で言うと、例えば長船や邑久と比べましても、それほど差はないと思う。日生町は土地が少ないので高いのですが、地価で言うと購入しやすいのではないかと思う。岡山と比べると安いと思う。

委員長 片上の山裾には土地が少ない。物理的に。

担当 出来れば民間の力で宅地等にどちらかに造成等していただけるのなら一番いいのですが、「つつじヶ丘」が市の分譲地として浦伊部にあります。こちらは、ほぼほぼ完売しています。今後、新しく造成や分譲地だとか将来考えて実施していくような計画にはなっています。

事務局 空き家対策は？

担当 空き家を活用する意味合いで言うと企画課で、備前市にある家は使わないので処分したいという場合に、空き家バンクという物件のストック制度を設けていて、それを全国の方に見ていただいて空き家の活用を進めていこうという岡山県全域で取り組んでいます。

(4) 平成 29 年度事業について

事務局から説明

倉地委員 日本遺産の構成要素の話をいろいろ議論して、それとは違う形で日本遺産の

場合は構成遺産について厳しい制限があるわけではないので、ある意味で言うところを出しても良かったというのもあって、ああいう形になっているのだけれど、実際にはもう少しきちっとした構成要素についても考え直しても良いのかなと思う。そういうことで、歴史文化構想の話の中で日本遺産と絡めて、それだけで見直しや全体を動かして良いかというのは、他にもいろいろな地区がある中でのことなのですが、ここに出ているようなものは、やって欲しいなと言うか、この機会があって整備が出来るのであれば、整備や調査し、構成要素を増やしていくことは、日本遺産を日本遺産としてちゃんとしていくという意味でも、意味があるのかなと思うので。日本遺産と絡みの中にもこういうものを入れていって良いと思うし、こういう形で出してもいいし、何か総合的に閑谷等々の関連で考えていってほしい。

事務局

実際に日本遺産の構成資産を申請をする際に当初は和意谷墓所も閑谷焼窯跡も構成資産に入っており、その中で事業がいろいろ展開できるというもくろみもあったのですが、他市との調整等でこの2つは漏れています。閑谷焼窯跡のそばにある福神社も構成資産から外されているということで、本来しっかりとフレームの中で時間をかけて検討したものではないので、こういった歴史文化基本構想の中で日本遺産の構成資産になっていないものをきっちりして、将来的には日本遺産に含めていくようなモードがあって良いかなと思っています。ただ、特定の地域だけと言うのは問題になるので人材育成事業ということで全体を説明できたり情報発信できる人材育成をということで、大きく7つの関連文化財に係るような人材育成事業、7つの関連文化財ごとに冊子を作製したり、アプリ化するような全体を覆うような事業も絡めていければと思っています。もう一つ気になることがあり、井田跡の関係で、最近農業遺産がかなり動き出したということを新聞記事で見て、この農業遺産と言うのが割と新しいところで、歴史的なことではなく近代以降の話だったと思います。もう一つ、赤磐市が中心になってジオパーク構想を進められているというような話があったりというような動きがあったりするので、そのようなことも絡めて今日は情報共有していただければという事でこういう会を設定させていただきました。

(5) その他

特になし

3 閉会あいさつ（岡本副委員長）

平成 29 年 3 月 28 日 備前市歴史文化基本構想策定委員会

「近世日本の教育遺産群 一学ぶ心・礼節の本源一」

教育遺産世界遺産登録推進協議会

(茨城県水戸市・栃木県足利市・岡山県備前市・大分県日田市)



旧弘道館（水戸市）



足利学校跡（足利市）



旧閑谷学校（備前市）



咸宜園跡（日田市）

【ストーリーの概要】

我が国では、近代教育制度の導入前から、支配者層である武士のみならず、多くの庶民も読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示した。これは、藩校や郷学、私塾など、様々な階層を対象とした学校の普及による影響が大きく、明治維新以降のいち早い近代化の原動力となり、現代においても、学問・教育に力を入れ、礼節を重んじる日本人の国民性として受け継がれている。

【主な構成文化財】

- ・ 特別史跡「旧弘道館」(水戸市)：日本最大規模の藩校
- ・ 史跡「足利学校跡」(足利市)：現存する日本最古の学校
- ・ 特別史跡「旧閑谷学校」(備前市)：世界最古の庶民のための公立学校
- ・ 史跡「咸宜園跡」(日田市)：近世日本最大規模の私塾跡

【備前市の構成文化財】

- ・ 旧閑谷学校
- ・ 釈菜
- ・ 備前国和気郡井田村延原家文書
- ・ 熊沢蕃山宅跡
- ・ 井田跡

日本遺産の認定推進に当たっては、平成 14 年(備前市)から始まり、27 年度から連携することとなった 4 市の世界遺産登録推進がベースとなっている。

平成 27 年度実施事業

○教育遺産世界遺産登録推進協議会実施事業（日本遺産魅力発信推進事業：5,053 万円）

1. 情報発信，人材育成事業

(1) 日本遺産パンフレット作成（5 言語（英語，簡体中文，繁体中文（香港向け・台湾向け），韓国語）【共通事業】（平成 28 年 3 月末までに完成）

① 足利学校 多言語（2ヶ国語（英・中（簡体中文））パンフレット作成【足利市】

(2) 訪日外国人向けの日本遺産の PR

① 日本政府観光局（JNTO）のホームページを活用した広告掲載【足利市】
10 月号（9/28 正午公開から 1 年間）での掲載

(3) ガイドボランティア養成

① 日本遺産（弘道館・偕楽園等）ガイドボランティア養成講座
【水戸市】2/14（英語ガイド）、2/16 実施

② 日本遺産（足利学校）ボランティア案内ガイド養成講座【足利市】2 月～3 月実施

③ 「日本遺産こどもガイド」養成事業【日田市】

※備前市も公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会と連携して開催予定だったが
顕彰保存会独自に「閑谷おもしろゼミナール」（全 6 回）として 8 月から開講。

(4) 情報発信事業

① 水戸市周辺における情報発信事業【水戸市】水戸駅、茨城空港での広告宣伝。中心街でのぼりやポスターを掲示。

② 備前市周辺における情報発信事業【備前市】

・ 高速道路 SA・PA：10/1～10/31（一部 10/11～11/10）、3/1～3/31 ポスター等掲示
「遊・悠・West 10/20 号」10/20～12/19 配布

・ JR 駅等：東京・名古屋・新大阪駅デジタルサイネージ広告 10/1～10/31

・ 岡山空港：広告掲示（28 年 3 月実施）

③ 足利学校 情報発信事業【足利市】市民説明会や出前講座

④ 日田市における情報発信事業【日田市】ナビゲーションソフトの作成

⑤ 映像製作 【水戸市】多言語（日本語，英語，簡体中文，繁体中文，韓国語）で製作

(5) 雑誌「一個人」をメイン媒体にした「日本遺産」プロモーション

【共通事業】3 月号（2/10 発売）掲載

2. 普及啓発事業

(1) 日本遺産モニターツアー

① 市民向けモニターツアー【水戸市】3/25 実施（足利市へ）

- ②市民向けモニターツアー【足利市】3/7 実施（水戸市へ）
 - ③日本遺産探訪事業【備前市】3月12日（午前・午後）実施、
市内5つの構成文化財をフィールドワークした
 - ④外国人留学生向けモニターツアー【日田市】2/27 実施、大分県内の大学留学生を対象として、「天領日田おひなまつり」等に合わせて実施
- (2) 日本遺産認定記念 「近世の教育遺産」サミット開催【共通事業】11月1日（日）足利市民プラザ文化ホール、対象：招待者及び一般市民 487名参加 無料
- (3) 日本遺産紹介巡回展 【共通事業】4市の日本遺産の構成文化財20件の写真をパネルにし、各市で展示開催（平成28年3月実施）
- (4) 「史跡足利学校方丈庭園の本質的価値の理解と保存維持管理技術向上のための研修会」の開催【足利市】10月12日（月・祝）に開催
- (5) 文化施設での日本遺産企画展
【備前市】歴史民俗資料館で「日本で遺産なすごいトコ！」12/18～1/24 開催
- (6) 日本遺産認定記念「咸宜園・豆田町を空から見てみよう！」
【日田市】11/28・29 開催。抽選で400名が熱気球体験。

4. 公開活用のための整備に係る事業

- (1) 足利学校 公開活用計画事業
【足利市】ガイダンスルームの機器整備、展示室エアコン整備、多言語対応音声ガイド導入、多言語対応説明板作成15枚
- (2) 案内板説明板の設置
 - ①案内板説明板の設置 【備前市】構成文化財近隣に設置7か所
 - ②案内板の設置 【日田市】咸宜園や豆田町への誘導案内表示設置

平成27年度事業は正式な交付決定通知が9月半ばとなり、概算払いも遅いことから年度末に集中することとなった。

○文化庁ほか

- 日本遺産フォーラムへのブース出展【東京】6/29
- 「日本遺産展」国際発信事業
【フランス】11/10～14に旧閑谷学校の瓦（備前焼）を出展 ※テロにより短縮
- 24時間ネットニュース【フジテレビ】7/21 生出演（足利学校所長が対応）

○備前市単独事業（市長室秘書広報課 世界・日本遺産推進係）

- 平成 27 年 4 月 24 日（日本遺産認定日）
 - ・日本遺産認定記者会見実施
 - ・懸垂幕設置（市役所・総合支所・出張所）
- 「広報びぜん」5月号に「号外（A4）」折り込み…全戸配布【広報・SNS 係】
- 歴史民俗資料館で構成文化財「備前国和気郡井田村延原家文書」特別展示実施
【歴史民俗資料館（生涯学習課）】
- 「広報びぜん」6月号に特集掲載【広報・SNS 係】
- ポスター・チラシ作製…チラシは観光窓口、旧閑谷学校、旅行会社で配布
- 卓上のぼり…市施設窓口に設置
- のぼり製作…構成文化財を中心に紅白2種類のぼり設置
- ピンバッチ作製
- とっとり・おかやま新橋館での PR 参加
【まち営業課】4市で6/19・20に東京（新橋）で PR
- 日本遺産認定記念講演会
【旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会ほか】10/24に構成文化財の伝統行事「釈菜（せきさい）」にあわせて旧閑谷学校に隣接する岡山県青少年教育センターで講演会を開催
- 日本遺産認定記念給食
【教育総務課・共同調理場】全国学校給食週間1/24～30に4県の郷土料理の献立を実施。
- 雑誌・社報等の掲載依頼
- メディア取材対応
 - ・関西テレビ
 - ・岡山放送 OHK
- 第 57 回中国ブロック観光情報交換会
【東京事務所】6/18 東京の都道府県会館で観光業者等を対象に日本遺産 PR
- 津和野日本遺産センター主催イベント【島根県津和野町】での PR 参加 10/18（金）
- 尾道市日本遺産魅力発信推進事業「日本遺産シンポジウム」へ出展
【広島県尾道市】2/11～14にポスター掲示・チラシ配布

岡山県

- 日刊スポーツに PR【岡山県大阪事務所】8/31 掲載
- その他、旧閑谷学校の所有者である岡山県は認定日に旧閑谷学校等にのぼり設置し、今年度史跡の案内板を多言語化した。旧閑谷学校の指定管理者である公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会では、通常の事業のほかゴールデンウィークに記念イベントを開催昨年同時期の1.4倍の入場者となった。

他市（水戸市・足利市・日田市）との連携

各市でも日本遺産魅力発信推進事業や世界遺産登録推進事業が開催されており、情報共有に努めている。

（参加例）

○足利学校復原 25 周年記念式典及・特別講演会」

【足利市】11/1 日本遺産サミットの前段で開催

○日本遺産認定記念フォーラム

【日田市】11/9 日本遺産審査委員会委員長の基調講演、パネルディスカッションを開催

その他、日本遺産の構成文化財がある備前市伊里地区において独自に日本遺産認定記念イベント（パネル展示、講演会）が開催されている。今後、看板（案内板・説明版）設置に向けても協力的であり心強い。

平成 28 年度実施事業

○教育遺産世界遺産登録推進協議会実施事業（日本遺産魅力発信推進事業：28,935 万円）

1. 情報発信，人材育成事業

(1) 「日本遺産」マスター映像制作及び番組放送

TBS 放送「世界遺産」のスタッフによる「日本遺産」マスター映像素材の制作及びBS-TBSでの番組放送（1/22）。【共通事業】（番組では2ストーリーを約30分で紹介する。）

なお，マスター映像は，展示会，ワークショップ，シンポジウムなどでの使用が可能。

(2) 国内線機内誌への広告記事掲載

国内線機内誌に「近世日本の教育遺産群」の紹介記事を1か月間にわたり掲載し，4市の日本遺産の情報発信を行う。

(3) 各市における情報発信事業

① 水戸市における事業

ア 水戸駅広告掲載

水戸市に訪れた観光客やビジネスマンに対して，日本遺産の周知を図るため，水戸駅でのデジタルサイネージや大型ボード，フロア広告による広告を実施する。コンテンツは昨年度の実業で制作したものを使用する。

イ 構成文化財リーフレット作成

水戸市内にある構成文化財（弘道館，偕楽園，日新塾跡，水戸彰考館跡，大日本史）ごとに，それらの歴史的な背景や見学ポイントなどを深く掘り下げたリーフレットを作成し，構成文化財のある施設や観光案内所，ホテル・旅館などに設置するとともに，日本遺産に関する講座などで活用する。

ウ 東京駅広告掲載

東京駅でのデジタルサイネージによる広告を実施する。

② 足利市における情報発信事業

ア デジタルサイネージ広告掲出

首都圏から足利市への最大の鉄道機関である東武鉄道の主要駅のデジタルサイネージ（全10駅・39面）を使用し，ちょうど足利学校さままつり（11月）が開かれる期間を中心に4週間，日本遺産を掲出し周知を図る。

イ 日本遺産足利学校フラッグ作成 8枚

ウ 日本遺産足利学校のぼり作成 50枚

③ 備前市における映像制作

日本遺産のストーリーや構成文化財，特に備前市のものを中心とする内容で映像作品を多言語（日本語，英語，簡体中文体中文，韓国語）で製作する。製作した映

像は、市のホームページや動画共有サイトに掲載するとともに、DVD を構成文化財の施設、観光案内所、市民向けの講座などを開催する市民センター、市内の公立中学校などに配布し、活用してもらう。

④ 日田市における情報発信事業

ア 高速バスラッピングによる情報発信

福岡-日田間の高速バス（1 台）に全面ラッピングを行い、「日本遺産のあるまち・日田」・咸宜園・豆田町を広く周知する。（9 ヶ月間）

イ 日本遺産宣伝用写真撮影・整備

日田市内の日本遺産の宣伝材料用の写真として整える。

ウ 教育遺産アプリ活用促進事業

平成 27 年度に作成した「教育遺産アプリ」の既存説明板の多言語対応等の機能拡充を行い、普及・活用促進イベントを開催するもの。

(4) ガイドボランティア養成講座

① 日本遺産（旧閑谷学校）ボランティアガイド養成講座

ガイドボランティア経験者でも、日本遺産の構成文化財すべてについての知識はないので、講座を通して、知識を深め、より広い視点での説明を行い、観光客の満足度を高める効果が期待できる。また、講座を開催することにより、新たなガイドボランティアの発掘にも繋がる。 延べ 70 名参加

② 「日本遺産子どもガイド」養成事業

子どもガイドを養成し、実際にガイドを実施することにより、観光客へのおもてなしとわかり易い説明を行うことができるとともに、市内小学生の日本遺産に対する理解を図りながらふるさとの日本遺産としての誇りを培う。平成 28 年度は市内小学校全体に募集を広げ、郷土の歴史と文化、日本遺産の理解の促進を図る。

2. 普及啓発事業

(1) 日本遺産シンポジウムの開催

市民が、日本遺産に認定された歴史的な遺産等の魅力に改めてふれる機会を創出し、郷土の歴史や今後の活用への意識高揚を目指す。 約 300 名参加

(2) モニターツアー

東京⇒足利市

国内最大の観光ターゲットである東京からの、現実的な観光ニーズ及び今後の課題の把握を行うことができる。また、モニター募集を通じて、東京圏内の多くの人に日本遺産のことを周知できる。 約 90 名参加

(3) 日本遺産 足利学校国宝漢籍類 公開事業

足利学校の日本遺産構成文化財のうち、国宝漢籍については、多くの人たちから公開の要望があるが、未だ実現されていない。

日本遺産認定一周年を記念し、国宝・重要文化財の漢籍類を特別公開し、併せて、図録を作成、関係機関等に広く配布することにより、日本遺産としての価値を高め、広く周知することができる。

(4) 文化施設での日本遺産企画展(備前市)

今年度は、備前焼ミュージアムから旧閑谷学校の備前焼の瓦を、「教育遺産を守る瓦たち ～旧閑谷学校の備前焼瓦～」と題し掘り下げ、日本遺産認定の意義や歴史的由来等をさらに深める。(29年1月11日から2月5日開催実施) 約500名来場

○文化庁ほか

○日本遺産フォーラムへのブース出展【岐阜】7/1

○日本遺産プロデューサー派遣事業 【水戸市】9/3、【日田市】12/22 予定

○24時間ネットニュース 【フジテレビ】10/4 生出演(備前市が対応)

○備前市単独事業(市長室秘書広報課 世界・日本遺産推進係)

○平成28年4月24日(日本遺産認定1周年)

・日本遺産共通パンフレット等を配布【特別史跡 旧閑谷学校】

※のぼり等は継続

その他、日本遺産の構成文化財がある備前市伊里地区において今年度も独自に日本遺産認定記念イベント(パネル展示、講演会)が開催されている。

備前市の観光行政について

まち営業課おもてなし観光係

【観光行政について】

【主な事業】

① 備前観光ツアー促進補助金：市内の有料観光施設等への訪問や、飲食等を

催行した場合に補助。旅行事業者に補助をする。

② 備前市無料公衆無線LAN設置事業補助金：市内の宿泊所や店舗に無料Wi-Fi機器導入のための設置工事費の一部を補助する。

③ 市有船活用事業補助金

【広域観光事業・情報発信事業】

① J R 赤穂線沿線地域活性化連絡協議会負担金

② 東備広域観光推進協議会負担金

③ 観光ボランティアガイド協会補助金

④ 行事企画運営委託料

